



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

特別支援教育支援員の増員を —三浦市議が市政要求報告懇談会で—

8月31日(土)に、市政要求報告懇談会を日比崎公園で開催いたしました。多くの市民の皆さんに参加して頂き、議員団に対しての要求や、尾道市政の問題点や課題について率直なご意見が多く出され論議を深めることができました。ありがとうございました。

尾道市政の報告では、岡野市議は9月の議会にて「1学級35人学級の実現に向けて」県内の他の自治体の取組みを紹介しながら、尾道市でも実現させたいと抱負を述べました。

三浦市議は、尾道市の特別支援教育の課題について、自らの教員経験を通して、課題を報告しました。尾道市内の小中学校での「自閉症・情緒障害特別支援学級」における学級編成の問題点について熱く訴えました。

特に尾道市内の小中学校における「自閉症・情緒障害特別支援学級」の学級編成においては定数8人(1学級)で、在籍している児童の学年が2年生0人、3年生0人、5年生0人、6年生0人(合計8人まで)と言った4学年による複式学級ができている現実の例を挙げて説明しました。

学習の場面で様々な「困難さ」を持つ児童たちの「個別のニーズ」に合わせた指導が十分にできていない実態を具体的に示していききました。「1時間の指導時間は45分し

かない中で教員ひとりが大変苦勞して指導に当たっている」と訴え、「困難さ」を持つ児童一人一人が、見通しを持って学習ができ、自己肯定間の高まる学校にしていくためにも、そうした児童の個々の「困難さ」に寄り添って「個別のニーズ」に合わせた様々なアドバイスをしている「特別支援教育支援員」の増員配置は不可欠であると訴え、9月の議会にて特別支援教育支援員の増員を求めていくことを明らかにしました。

市民の皆さんからは、「尾道市の公園にはトイレの設置が他の自治体に比べ少ないので調査改善して欲しい」「尾道市市民会館の廃止は問題があるのではないか」「一人暮らしの高齢者が少ない年金で生活を強いられて困っているしつかりと調べて対応して欲しい」等々市政に対しての要求・要望が数多く寄せられました。市民の皆さんの声を今後、議会に届けていきます。

9月2日の本会議で、岡野市議は「市民会館廃止条例」について質疑し、「この条例には違和感がある」と指摘しました。市民会館と言えども市民会館として多くの市民に利用されや身体が不自由な人

も利用できるようにエレベーターも設置されました。共産党議員団もエレベーターの必要性を繰り返し求めた思い出の施設です。それが来年の3月いっぱい使えなくなると言う。「チョット待つて」と言いたくなるのは当然ではないでしょうか。

10月からの消費税増税は無理 強く大きな世論で増税ノ一の民意を示そう



定時・定点から訴える三浦市議

10月の1日から、自民・公明政権が数にモノを言わせて消費税を10%にアップしようとしています。三浦市議は9月4日(水)の定時・定点での街頭宣伝の中で「1か月後には消費税が10%にアップされ

てしまいます。しかし、現状の経済状態の中で消費税増税は無理という多くの皆さんの声も届いていません。賃金が上がらないのに、増税なんてトンデモない。年金は減らされていくのに、税金だけ上げられては生活できなくなってしまう。ものがますます売れなくなっ

て商売ができなくなってしまう。」等々の切実な市民の声を紹介していききました。

その中で「日本共産党は消費税に頼らない別の道と財源案を示しています」と共産党の政策、①大企業にも小企業並みの税金負担を②株式配当や株取引で大儲けしている一部の人に応分の税負担を③米軍に使う思いやり予算を国民のために使おうと訴えていきました。今こそ、皆さんの力で増税ノ一の声で大きな世論を起こしましょうと力強く訴えました。

なぜ「WHY」廃止? 「公会堂別館」 —岡野長寿市議が冒頭本会議質疑—

9月2日の本会議で、岡野市議は「市民会館廃止条例」について質疑し、「この条例には違和感がある」と指摘しました。市民会館と言えども市民会館として多くの市民に利用されや身体が不自由な人も利用できるようにエレベーターも設置されました。共産党議員団もエレベーターの必要性を繰り返し求めた思い出の施設です。それが来年の3月いっぱい使えなくなると言う。「チョット待つて」と言いたくなるのは当然ではないでしょうか。

担当部長は、耐震診断をしたら、IS値が悪かったというのですが、必ずしも取り壊すとは限らない、この1年かけて、検討するということです。それなら、早々と廃止を決める必要はないはずだ。(よくわからんとヤジが...)

4階の大会議室や3階の小会議室の利用者は、新庁舎で対応できるのか、申し込みが重なれば利用できなくなると指摘、この点も充分な説明がありません。(論戦は総務委員会に)